

明大前商店街振興組合自警会（東京都）



皆さん、こんにちは。ただいま御紹介いただきました、明大前商店街振興組合自警会会長の本杉と申します。こちらが広報を担当しております内藤でございます。2人で参りました。よろしくお願いいたします。

「自警会」と大変堅苦しい名称でしたので、若者にも参加していただけるように、「明大前ピースメーカーズ」という愛称で、通常は呼ばれております。



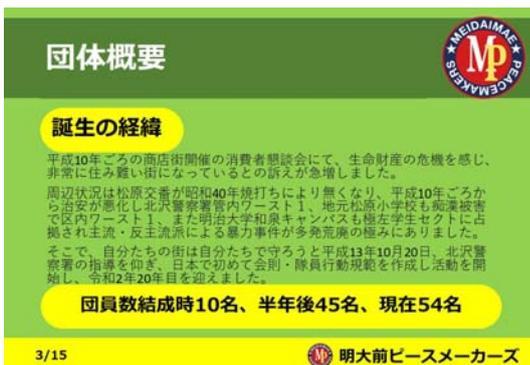
明大前ピースメーカーズ



設立したのは平成13年の10月20日。10名の隊員でスタートいたしまして、この10月20日からちょうど昨日が19年と1カ月、20年目に入ったところでございます。



地域場所ですが、東京都世田谷区の北の方、もうすぐ上隣は杉並区です。区界を甲州街道、ルート20号線が走っており、ちょうど私どもの松原1丁目～6丁目という半径500メートルぐらいの地域です。人口は約3万人強、世帯数にして1万5000世帯ぐらいの町です。こちらが新宿 toward 側が八王子、京王線が走っていて、下の方から渋谷から吉祥寺へ行く井の頭線が走っていて、ちょうどクロスするところです。駅は、乗り換え客が大体1日17万～18万人、乗降客が現在は11万人。世田谷区にはJRの駅がございませんので、私鉄の中では大きな方の駅になっております。



誕生の経緯といたしましては、私ども商店街は、毎年1回、20～30名の消費者にお集まりいただいて、消費者懇談会をしております。平成10年～12年ぐらいいにかけて、その消費者懇談会において、消費者からかなりきつい意見で「財産の危機、生命の危機を感じるほど、この町は住みにくい町になってしまった」というような言葉が出ました。そんなにすごいのかなということ、所轄の北沢警察署に尋ねに行くと、明大前駅周辺

松原 2 丁目と言いますが、この地域が北沢警察署管内の犯罪ワースト 1。世田谷区には 4 つの警察署がありますが、世田谷区の警察署の中でもワースト 1。地元には松原小学校という当時では 440～450 人の小学校がございましたが、ここが 10 日に 1 回、痴漢の被害に遭っているという世田谷区 64 小学校の中のワースト 1。明大前駅の名前の由来は、ここに明治大学の和泉キャンパスがあるわけです。当時で 7,500 名ぐらいの学生がいたわけですが、昭和 35 年第 1 次安保闘争時に、極左暴力的集団に占拠されて、これが主流派と反主流派に分かれてお互いに殺し合いをしました。平成 14 年時点で、主流派が反主流派を 7 名、反主流派が主流派を 5 名殺害しています。主流派が実際にはキャンパスを乗っ取っていたわけですが、生協を乗っ取るために生協の職員 2 名も殺していました。大学の和泉キャンパスの事務部長も、自宅へ帰る途中で 2 名の鉄棒を持った学生に襲われてほとんど半死の状態というほど、荒れすさんでいました。もともとは松原交番がありました。主流派に焼き討ちに遭い、無くなってしまいました。それからすぐ近くに交番ができましたが、この明大前駅周辺には、隣接交番からの距離が 1 キロ以上離れていないとできないということで、もう交番はできませんということを警視庁の方に言われておりました。それで、何とか元の住みよいまちにするには安全安心のまちづくり、自分たちの町は自分たちで守ろうということで、民間交番を作ろう、パトロールも毎日やろうということで、商店街が立ち上がって、平成 13 年からパトロールを始めたわけでございます。当初は 10 名でしたが、現在は 54 名の隊員で回しております。



このボックスは「民間交番」と言うてはいけなと警視庁から言われ、「ピースメーカーズボックス」という名前は許されました。そこにピーポ君がちゃんと収まっております。ここで朝の 8 時半ぐらいから夜の 5 時半ぐらいまで、月曜から土曜まで専従職員 1 名が構えております。あとパトロール隊員が夜の 7 時半から 10 時過ぎまで活動に入りますので、この間も開いております。この交番は、私どもにとりましては非常に思い出

の深い交番として、平成 14 年の 4 月 11 日に開所したのですが、この前が駅前広場になっています。場所的には、この交番の左約 5 メートル、ちょうどこの交番の長さぐらい行ったところが、もうすでに駅の構内で改札口です。改札口を出て 5 メートルで交番があるという、立地的には最高の場所です。ここを開所した 4 月 11 日の 10 時 30 分に、この前の駅前広場で、例の明大前和泉キャンパスを占拠していた主流派と反主流派が内ゲバをやりました。これを私以下幹部 3 人がちょうどここにおりまして、じっくりと眺めることができました。後に警視庁の公安部から協力要請をされました。一般の方は報復を恐れてなかなか協力できないというのが当時の風潮でしたが、我々はそういうことを恐れては、今後の活動ができないということで積極的に協力いたしまして、5 名を 1 カ月半後に逮捕する面割り等に協力いたしました。この 5 人が組織の幹部だったものですから、幹部が逮捕されたということで組織が弱体化いたしました。学生 8 人在籍しておりましたがこれを除籍しまして、昭和 35 年に占拠されてから 42 年ぶりに明治大学の和泉キャンパスが解放されて、一気に学生がまた昔のように通学できるようになりました。この画期的な出来事が、平成 14 年 4 月 11 日、ピースメーカーズボックスの開所の日でした。後の話ですが、公安部から聞くとところによると、この松原交番を焼き討ちしたのが、その 5 人の逮捕者の中にいたらしいので、ほんとに事実は小説より奇なりといいますが、大変我々にとっては思い出深い民間交番の開所日になりました。

活動内容2
小学校安全パトロール



活動範囲内にある松原小学校の登下校の通学路見守りと挨拶運動も全国初の試みであり、半年の活動で、10日に1件の割合で多発していた痴漢被害は無くなりました。現在は全国的に広まり98%の小学校で見守り活動が行われています。



活動頻度：登下校時毎日

5/15 明大前ピースメーカーズ

活動内容3
夜間パトロール



日曜祭日を除く月曜から土曜の6日間、夜7時から10時半の1時間を2～6名がチームとなり、1～2チームでパトロールしております。特徴は熊よけの鈴を鳴らしながらのパトロールで、地域住民に戸締り等の警鐘となっています。



活動頻度：月曜日から土曜日

6/15 明大前ピースメーカーズ

活動といたしましては、その他に小学校の安全パトロール、これは先ほど言いましたように10日に1回痴漢被害に遭うという非常に周囲が乱れておりました、何とかこれを止めようということで、登下校時に、我々4、5人が要所要所、通学路の角等に立ちまして、安全見守りをし、同時に挨拶運動もしています。10日に1回出た痴漢というのは1人です。学校長にお願いして学校に「痴漢被害に遭いました」と子供が駆け戻ったり、家に帰ってお母さんに言った時も、お母さんから直ぐに校長に電話をもらい、校長は私のところに電話を入れてもらいます。若手の3、4人を「特別機動捜査隊」と呼んでいたのですが、これが校長から電話をもらうとすぐに自転車なりバイクでその現場に駆けつけて、その辺をぐるぐる回ったわけです。これは4回やりました。そしたらびたっと出なくなりまして、以後ほとんど痴漢は出ておりません。64小学校の中のワースト1が、6カ月で痴漢が出なくなって、その後は非常に安全性の高い小学校ということになりました。昨日も私、朝見守りにいましたが、校長と会ったものですから「校長先生、今児童何人いるの?」と言ったら、「平成13年に440人ぐらいだったのが、今665人いる」と。200人50%以上児童も増えて、今はいい小学校だと言われるようになっております。

夜間のパトロールは、2、3名で1時間、大体5キロぐらいを巡回しております。その時の私どもの特徴としては、最初から鈴を鳴らしております。これは熊よけの鈴です。これを3、4人で同時に鳴らすと、非常に夜間通りがいいんですね。ですから雨戸をしたお宅でも、「あ、今ピースメーカーズが回ってくれてるんだな。戸締りちゃんとしたかしら?火の元も締めたかしら?」といったように、この音によって考えを巡らしてもらうようになっております。

活動内容4
青パトパトロール



音の回転灯、サイレン、拡声器付きの本格的なパトロールカーにて、全域を隈無くパトロール。隊員2～4名乗車で週2回行っております。



青パト条例施行と同時に日本財団より第一号車の寄贈を受けました。現在日本財団では全国に400台近い青パトが寄贈されています。

活動頻度：週に2回

7/15 明大前ピースメーカーズ

活動内容5
特別パトロール



盆踊り大会等の商店街イベント、街の祭礼、餅つき大会などの警備並びに交通整理を行っております。更に小学校の運動会、スポーツ大会等の行事の警備、交通整理も行なっております。



活動頻度：イベント開催時

8/15 明大前ピースメーカーズ

あと青パトですが、平成15年から私が日本財団に「どうしてもパトカーが欲しい。寄贈してくれ」と申し込んでおりましたが、なかなかOKが出なかったのですが、青パトの条例ができて、第1号をおかげさまで私どもが頂くことができました。今、日本財団から全国に400台出ているということです。私どもの半年後に、私どもの同じ松原3、4丁目自治会がもう1台寄贈を受けまして、自治会が昼間、町を巡回し、私どもは週2回夜巡回しております。軽自動車ですので、非常に細かい道

も1時間回りますと、半径500メートルの地域はくまなく回れるという利点があります。私が平成15年に日本財団にパトカーをお願いしたのは、ひたたくりがどうしても減らないからでした。ひたたくりはバイクでやりますから、我々が徒歩でパトロールをしても、あまり効き目がないんですね。パトカーを導入してから無くなりました。もうこの5年間ぐらいほとんどゼロです。一度正月に我々が休んでいる時にやられたことがあります、この5年間ぐらいは、もうゼロだと思います。非常に青パトの効果が絶大でした。

あと特別のパトロールとしましては、いろんなイベントごとの警備、交通整理。ことに小学校の運動会やスポーツ大会等、校内の警備と周辺の交通整理を行っております。

活動成果1
犯罪減少



松原1丁目～6丁目の空き巣、強盗、ひたたくり等犯罪件数が下記の推移で減少しました。

平成13年度	537件
平成14年度	224件 (前年比30.3件減)
平成15年度	125件 (前年比9.9件減)
平成23年度	15件 (10年で減少率97.15%)

※手集計

9/15
 明大前ピースメーカーズ

先ほど課長様の挨拶にもありましたように、平成14年をピークに15年から犯罪減少になっておりますが、13年度は537件、これは空き巣、窃盗、強盗、ひたたくり、この4項目だけにしてもらったんです。大きな駅なものですから、駅でスリ、チカンがすごい多いです。こういったのを入れると、私どもの守備範囲以上になってしまうというので、当時の北沢警察署の生活安全課長さんが「今後は、君たちの活動が分かりやすいの

に絞って統計を取ってほしい」ということで出していただいたのが、空き巣、窃盗、強盗、ひたたくりの4項目の犯罪で、平成13年537件、1年間週1回パトロールすれば、1割減ると言われていたのが、我々は週6日間やりましたから、大体6割減って初年度に303件の減少を見ました。その後順調に減っていきまして、もう最近平成23年の15件以降、ほとんど年間12～13件の犯罪になっております。

活動成果2
資産価値アップ



BBC、NHKほか国内テレビ全局、ニューヨークタイムス、ヘラルドトリビューン、国内新聞週刊誌全紙など、マスコミに取り上げられ、安全安心の街づくりが評価された結果、平成19年4月の京都大学不動産研究所の発表にて、犯罪が10%減少すると、その街の地価が1.7%上昇するとの計算で当地は16.5%アップ、同時期のアットホームの地価定観測において、京王沿線の住宅地価格で明大前がトップに躍り出た点と符合しています。

10/15
 明大前ピースメーカーズ

活動成果3
来街者増加



平成13年のパトロール活動開始当時の京王線明大前駅乗降客（乗換客含まず）が5万人でしたが、現在は11万人となり年間2,200人近い乗降客増加となりました。この乗降客増加による商店街への効果は年間110億円と換算され、鉄道会社も地域住民も、明大前ピースメーカーズの防犯パトロールによる安全安心の街づくりをテコに、明大前商店街振興組合が全力で努力した結果の賜物と認められております。

11/15
 明大前ピースメーカーズ

資産価値アップ、これはパトロールをしていない周辺の町に比べて、パトロールをしている町が犯罪が10%減れば、1.7%地価が上がりますという京都大学の発表です。これを当てはめましたら、我々のところは16.5%アップ。坪300万円の土地が確かに350万円になっております。

来街者の増加は、我々商店街に取りまして大変うれしいことです。平成13年には駅乗降客が5万人だったのが、現在は11万人。この間の安全安心のまちづくりということで6万人増えて、おかげさまで、年間110億円商店街にお金が落ちているということで、商店街の人がにこにこしている町になっております。

この写真は、平成20年10月10日の総理大臣表彰で、首相官邸で撮ったものです。一番左が佐藤国家公安委員長、それから麻生総理大臣、それから吉村警察庁長官、一番右側が私です。この賞状の中で下から3つ目の東京都知事賞はすごいんです。これは毎年150～180カ所が表彰を都知事賞とし

受賞実績

- ・北沢警察署長賞
- ・世田谷区長賞
- ・警視総監賞
- ・全国防犯協会会長賞
- ・東京都知事賞
- ・内閣総理大臣賞
- ・関東管区警察局長賞



12/15

明大前ピースメーカーズ

を受けていますが、大体 30 年ぐらいその道一筋でないともられません。私は 3 年間で頂くことができました。これは東京都の石原慎太郎知事が、平成 10 年から 14 年にかけて非常に東京都は犯罪が増えて、これは大変だということで治安対策関係の副知事を警察庁から呼びたいということで、当時の広島県警本部長の竹花豊さんが副知事として招かれました。最初に竹花さんが私どものところに見えて、2 時間半にわたっていろいろ

お話をしていただきました。帰るときに「これだな」と言って帰られたのが印象的でした。「知事在任 2 年間で、東京都内に 2,000 のボランティアの防犯パトロール隊を作る。そして 200 カ所の詰め所、民間交番を作る」ということを宣言されて実際にこれを実行され、平成 15 年には犯罪が東京都も減少し始めました。それで竹花副知事の推奨で、わずか 3 年目でありましたが、私が平成 16 年の 180 人の受賞者の総代として受賞しまして、謝辞も述べて大変荣誉ある光栄に浴したところでございます。

今後の展望

- ・京王線連続立体交差事業にともなう街の大きな変化に柔軟に対応し、更なる安全安心を進めていきます。
- ・数年後には現在のピースメーカーズボックスも街の再開発により移動を計画中です。幸いにも世田谷区、鉄道会社もその必要性を高く認識し再建を考慮中です。日本財団より協力の打診がありました。
- ・近年のオレオレ詐欺等、高齢者に対する犯罪が多発、これまでのパトロールでは対処がむずかしく、新しい犯罪に如何に対応するかを考慮中です。
- ・団員の高齢化対策を検討中。

13/15

明大前ピースメーカーズ

ご静聴
ありがとうございました。



明大前ピースメーカーズ

今後の展望ですが、明大前の駅舎が変わるということで、再開発が進んでおります。町が整理され綺麗になることは、犯罪が減少に向かういいことですので、積極的に進めているところです。ただ、明るい点は 2 年前にフランスパリにある国立アカデミー、これはフランスが国費で世界中の大学院生を 2 年間留学させて、いろんな研究をしてもらっているものです。この犯罪部門を研究していた学生が、「世界 210 カ国の中で日本だけが、平成 15 年 2003 年から犯罪が減少している。14 年間ずっと減少している。先ほど 17 年間減少しているとありましたが、3 年前までですから 14 年間減少を続けている。他の 209 カ国は犯罪が増え続けている。これは何かあるのではなからうか」ということで、フランスの大使館を通じて警察庁に問い合わせをしました。警察庁の方から「平成 15 年に全国に 1 万隊のボランティア防犯パトロール隊ができて、八十何万人かがパトロールするようになって、それから犯罪がずっと減少して、今や 4 万隊近く 380 万人の方がボランティアで防犯パトロールをしている。その関係で犯罪が減っていると思う」という返事をされました。どこかを紹介してくださいということで、警察庁から私どものところを紹介いただいて、調査員が 2 名来て、2 日間調査して帰りました。そして EU の犯罪防犯関係者の集まり、ケンブリッジ大学でこれを発表されました。そんなことで犯罪が減るんだったら、ぜひ取り入れたいという声が多勢だったと聞いております。ただ法律関係が日本と EU ヨーロッパとでは大分違う点がありまして、その辺を調整した上で取り入れるところは取り入れたいというご意見のようでした。今後、もしそちらの方で我々が活躍できる場があったらなと思って、勇んでいるところでございます。御静聴ありがとうございました。

した。以上で終わらせていただきます。どうもありがとうございました。

講評

木宮 発表ありがとうございました。日本の防犯ボランティアのいわば草分け的な存在ということで、非常に精力的に活動されていらっしゃると思いました。この活動を20年間継続されているということ、これは非常に御苦労もあったと思いますし、また資金面等もなかなか大変な部分もあるのかとも思いますけれども、他の団体のかなり参考になる活動ではないかと感じました。

発表の中で、犯罪が大幅に減ってきたという話もありました。町の状況をお話いただきましたが、当初はかなり大きな危機感の中で始まったことではあるけれども、今後犯罪が減った今、どういう目的をもって活動をしていくかというところが、ターニングポイントであると思いました。最初の資料にも「安全安心のため活動中」ということですが、だんだん安全から安心へというように、目的がシフトしていく中で、モチベーションをどう保っていくかというようなことも、他の団体さんの大きな指標となる部分かと思いました。

課題の中で高齢化であるとか、新たな犯罪対応という話もありましたけれども、これらについては、多くの団体の抱える共通事項かと思います。これについてはまた後ほど、お話の中で触れさせていただきたいと思いますが、こういった点についても、いろいろな団体との共通事項ということもあって、何かいい案、対策等お教えいただければと思います。

以上簡単ですが感想です。ありがとうございました。

意見交換

質問者 失礼します。非常に素晴らしい発表ありがとうございました。私は警察庁ですが、1つ伺います。多分、皆さんも関心を持たれていると思うのですが、民間交番です。この民間交番、全国でもいくつかありますが、その立ち上げ、そもそもこの土地を一体どこが管理されているのか、またその中の設備や維持関係のお金はこういった形で出ているのか、援助関係、行政とかの支援の関係はどうなっているのか、警察との日々の立ち寄りとか協力はどうなっているのか。所有関係と維持管理の関係、警察との関係について教えてください。

本杉 あの場所は、全部で4.5坪しかありません。半分の2.25坪は世田谷区が持っている駅前広場にかかっています。あと半分は京王線敷道の敷地内で、上は駅のプラットホームです。我々は使用貸借で、無償で2年おきに更新して借りております。鉄道敷地は、世田谷区が京王電鉄から無償で借りています。中の設備は全部私どもの方でしろということで、電気だけです。トイレは無いので駅を使えるように京王電鉄と話し合いを付けております。

経費は、世田谷から安心安全まちづくりという観点から、年間12万ほど頂けるようになっております。この席ですから言いますが、革労協の主流派に2回襲撃を受けています。私どもが逮捕のために公安部に協力したというのがいつの間にかばれて2回襲撃を受け、鉄パイプで夜中の2時半に、中には入れられませんがガラスを割ってピーポ君を鉄パイプでひっぱたいたので、ピーポ君が折れ曲がってすっ飛んだくらいでした。2年にわたって2回やられました。その修復は、区の建物ですので区がやってくれております。私どもの民間交番は、警視庁の交番が明大前ではもうできないと言われて作りました。しかし平成19年に世田谷区が用地を提供して、私どもの交番から50メートル先に警視庁の本物の交番ができました。ところが、うまく住み分けようということで、

町の案内は私どもの方が得意です。専従職員が地元出身で町のことをよく知っていますから、町の交通上のことを聞かれた時には、交番に聞くよりよく知っています。ですから交番の方で聞くと、交番は巡回していますから、地図を見て自分で探さないで難しいんです。そういう時にはおまわりさんが「向こうの民間交番に行って聞いてくれませんか」というようなこともあります。お金を拾ったと届けられることもありますが、そういったことは民間交番では扱いませんので、本署の方に行くようにと案内しています。あと、よく我々が呼び出されるのは、高校生の集団がコンビニの前に車座になって飲食していて、通行の邪魔になっているから何とかしろとか、最近はないですが、マンションに変なのに入られて困っているから、すぐに排除に来てくれとかいうことがありましたが、本物の交番ができてからは、連絡をしながらうまく両立しております。